

ブラジル金融政策(2018年5月) ～市場予想に反して政策金利を据え置き～

2018年5月17日

お伝えしたいポイント

- ・ ブラジル中央銀行は市場予想に反して政策金利を据え置き
- ・ 米国金利上昇による新興国からの資金流出懸念でブラジル・リアルは下落
- ・ 引き続き大統領選挙の動向を注視

<ブラジル中央銀行は市場予想に反して政策金利を据え置き>

ブラジル中央銀行は5月16日(現地)、政策金利を全会一致で据え置きました。

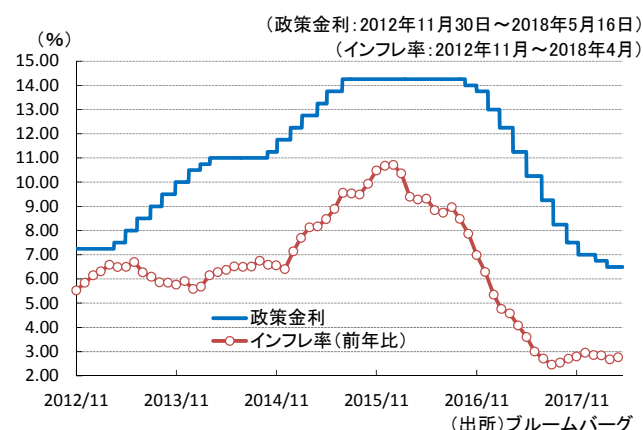
市場では、足元のインフレ率が中央銀行のインフレ目標の範囲(3%～6%)の下限を下回っていることから、政策金利の引き下げが予想されていました。また、中央銀行は前回の金融政策委員会の声明文で、インフレ率が中央銀行の目標に戻る時期が遅れるリスクを低下させるために、適度な追加緩和が適切であるとの見方を示していました。

今回の声明文では、政策金利を据え置いた理由として、リスクのバランスの変化によって、さらなる金融緩和が必要ではなくなったと述べています。グローバル金融市場の見通しは一段と厳しくなっており、変動性が高まっていると述べて、新興国に対するリスク選好度が弱まっていることを指摘しました。今回の据え置きは、ブラジル・リアル下落によってインフレ率が上昇するリスクを勘案したものと考えられます。

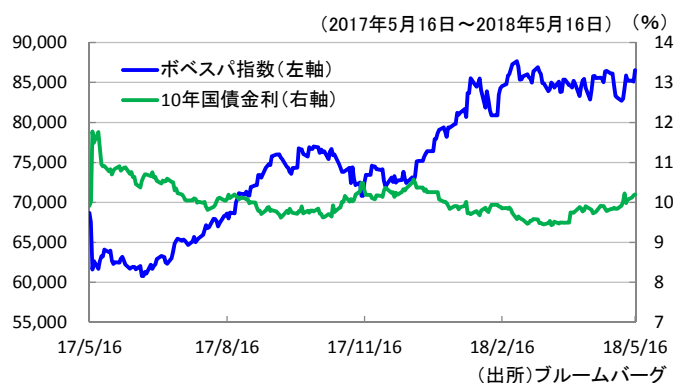
さらに、中央銀行は今後の金融政策運営について、今後の状況次第だとしながらも、政策金利の据え置きが適当であるとの見方を示しました。

当社では、今回の政策金利据え置きと声明文を受けて、これまで続いてきた金融緩和サイクルが終了したと見込んでいます。

《政策金利とインフレ率の推移》



《国債金利と株価指数の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

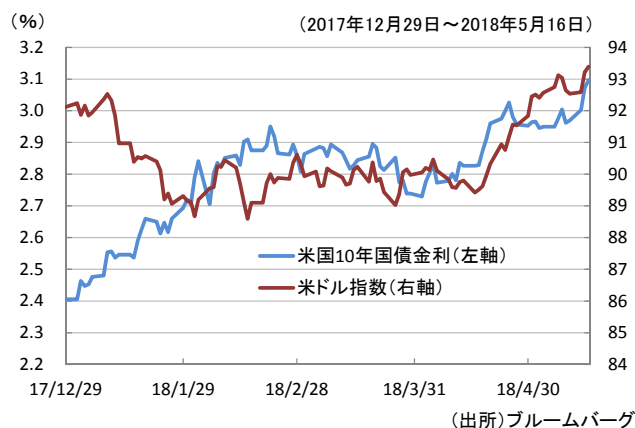
<米国金利上昇による新興国からの資金流出懸念でブラジル・レアルは下落>

ブラジル・レアルは足元で下落が続いています。その主な要因は、米国金利の上昇による新興国からの資金流出懸念の高まりであるとみています。

米国では、FRB(米国連邦準備制度理事会)が緩やかなペースでの利上げを進めていく中で、金利の上昇が続いています。対米金利差の縮小により、新興国からの資金流出懸念が高まっており、ブラジル・レアルを含む新興国通貨の下落が続いています。対GDP(国内総生産)比の経常赤字が大きいトルコやアルゼンチンは特に通貨の下落率が大きく、両国とも直近1カ月で通貨防衛のための利上げを迫られました。

ブラジルは上記2国ほど対GDP比の経常赤字が大きいわけではないため、当面は通貨防衛のための利上げに追い込まれるほどの懸念は小さいとみています。しかし、今後も新興国の資金流出懸念を考える上で、米国の利上げペースを注視する必要があります。

《米国国債金利と米ドル指数の推移》



《新興国通貨の騰落率と経常収支》

	ブラジル	中国	インド	南アフリカ	メキシコ	トルコ	アルゼンチン
騰落率(対米ドル) (2018年3月末～2018年5月16日)	-10.0%	-1.4%	-3.9%	-4.8%	-7.1%	-10.4%	-16.9%
経常収支(対GDP) (2017年)	-0.5%	1.3%	-1.5%	-2.5%	-1.6%	-5.6%	-4.6%

(出所)各種データより大和投資信託作成

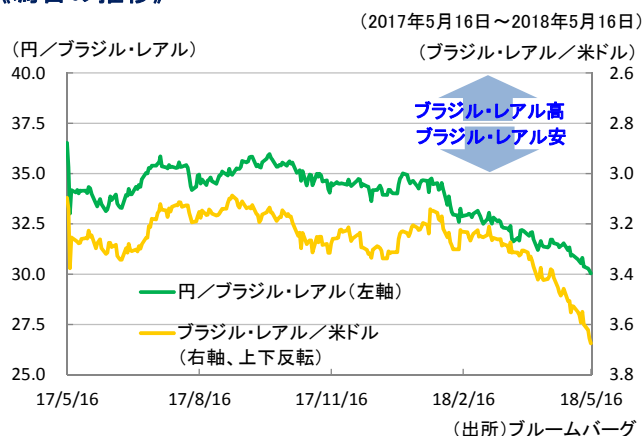
<引き続き大統領選挙の動向を注視>

10月の大統領選挙については、最新の世論調査で、収監されたルラ元大統領の支持率が依然トップとなっています。その他の候補者の中では、極右のボウソナロ氏の支持率が高まっていますが、直近では有力候補のバルボザ氏が出馬を辞退しており、今後も不透明な状況が続きそうです。当社は大統領選挙の動向を引き続き注視するとともに、Weekly Report「ブラジルの金融市場動向」やマーケットレター等で情報発信を行っていきます。

今後のブラジルの金融市場はグローバル金融市場や大統領選挙の動向に左右される展開が見込まれます。大統領選挙で構造改革の継続に前向きな候補の当選が有力になれば、ブラジルの景気回復とあいまって金融市場にとって好材料になるとみています。

以上

《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・ブラジル金融政策(2018年3月)~0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆~(2018/3/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180322_2.html
- ・ブラジル金融政策(2018年2月)~0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆~(2018/2/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180208_1.html
- ・ルラ元ブラジル大統領への有罪判決で年金改革への期待感が継続(2018/1/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180125_2.html
- ・ブラジルの格下げについて(2018年1月)(2018/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180112_1.html
- ・ブラジル出張報告②(経済・社会の「今」) ~経済、金融市場の安定を保つ上でも構造改革の進展は重要~(2018/1/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180105_1.html
- ・ブラジル出張報告①(政治の「今」) ~年金改革および大統領選挙の行方~(2017/12/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171226_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年12月)
~利下げ幅を縮小しながら金融緩和を継続。堅調な国内景気がレアルの下支え要因に~(2017/12/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171207_3.html
- ・ブラジル金融政策(2017年10月)~利下げを継続もペースは減速。緩和サイクルは終盤へ~(2017/10/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171026_1.html
- ・ブラジルのテメル大統領、検察から2度目の起訴~今後の注目点は財政・予算、大統領選挙へ~(2017/9/29)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170929_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年9月)~利下げ継続も今後はペースを鈍化。喫緊の課題への政府の取り組みに期待。~(2017/9/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170907_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年7月)~利下げを継続。ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目。~(2017/7/27)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170727_2.html

◇動画

- ・2018年ブラジル経済見通し~底堅い経済成長を期待~(2018/2/1)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov96.html>

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>